

(都) 浦和野田線 (元荒川工区) 第2回オープンハウス型説明会 御意見・御質問一覧

当日、会場で御質問いただいた内容や意見書で御提出いただいた内容に対する回答です。

御意見・御質問内容については、一部要約して記載していますので御了承ください。

No	分類	キーワード1	御意見・御質問内容等	回答
1	出津橋	案1	横断歩道橋に歩行者用のエレベーターの設置も検討して欲しい。	バリアフリー法に基づく特定道路（主要駅や市役所等の公共施設周辺で多数の高齢者や障害者等の利用が見込まれる道路）に指定されている路線においては、エレベーターの設置を検討する場合がありますが、浦和野田線は指定されていないことから、エレベーターの設置は困難なため、御意見として承ります。
2	出津橋	案1	出津地区の住民として、色々制約制限があることが理解できた。 案1について、北越谷地区側と出津地区側に各々エレベーターを設置すれば、車いす者、自転車利用者もより便利に利用できる。	
3	出津橋	案1	歩道橋形式は階段やスロープの昇り降りが面倒であり、雪の日や雨の日はスロープが滑って危険なので、住民は便利・安全と思って利用しないのではないか。	横断歩道で道路を横断するよりも安全性に優れた構造です。 勾配のある箇所は滑り止め舗装とすることで、雨天時の転倒に対する安全を確保できます。 降雪時は、必要に応じて優先順位をつけて除雪作業を実施しています。 横断方法については、御意見を踏まえ、総合的に判断していきます。
4	出津橋	案1	案1のスロープは傾斜角度5%とのことだが、元荒川にかかっている人道橋（東武スカイツリーライン西側）のスロープと比べてどうなのか知りたい。	御質問の人道橋は、越谷市が管理する「元荒川人道橋」で、案1に示すスロープの勾配と同じ5%です。
5	出津橋	案1	案1が最も良い横断手法に近いように示してあるが、高齢者が増加しつつある住民にとってスロープは移動しにくい形状である。	令和5年度の第1回オープンハウス型説明会で案1を提案したところ、利便性に欠けるなどの御意見をいただいたので、横断歩道橋に限らない道路の横断手法を複数検討し、今回の説明会で提案しました。
6	出津橋	案1	案1の歩道橋案が良い。	横断方法については、御意見を踏まえ、総合的に判断していきます。
7	出津橋	案1	横断距離が長くなっても子どもが安全に渡れる案1がいいと思う。	
8	出津橋	案1	案1だと、通勤通学に自転車を利用する場合、駅に近い横断歩道に交通が集中するのでは（横断歩道橋のスロープ移動が面倒）	
9	出津橋	案1	案1がいい。	
10	出津橋	案1	案1は生活が圧倒定に不便になる（通勤、買物等）のでやめて欲しい。	
11	出津橋	案1	案1が子どもの利用時など考えると良い案だと思う。ただ、利便性を考えると案3と案5が良い。	
12	出津橋	案1	案1について、今までの出津橋横断と少しも変わらないよう、橋とバイパスをそのまま横断できるあらゆる工法を考えるべき。	
13	出津橋	案1	案1は、横断距離が長いけどこれでも良い	
14	出津橋	案2	案2は、自転車、歩行者とも利用しやすい。大雨の際、車いすの方は遠回りも仕方ないのでは。	案2の説明パネルのとおり、車いす利用者の方は、道路を直線的に横断できません。
15	出津橋	案2	案2について、大雨時の冠水とあるが、仮にあっても時間が経てば水は引ける。バイパスが一時不通になっても、それは当たり前の代償。 身体的弱者がすんなり通れるように、「半地下案」の工法を進化させてほしい。イメージにあるような車椅子利用者が大回りしないですむよう、直線ルートを進化させてほしい。	浦和野田線は、救命活動や物資輸送を行うための緊急輸送道路となりますので、冠水等により通行止めとなる状況は避ける道路構造とすることが望ましいです。 横断方法については、御意見を踏まえ、総合的に判断していきます。
16	出津橋	案2	案1は車椅子の方が長いスロープの登り下りが難しそう。案3～5は車の速度が出そうなので、信号のない横断歩道は危ない。 以上から案2が現実的と感じたが、道路が冠水するのが課題。	横断歩道には信号灯器が設置されるように警察と協議していきます。
17	出津橋	案2	案2で進めるのが良いと思う。 道路半地下：大雨時冠水対策は「ポンプ場」を設けることで解決できる←考えられていないのでは？	御質問のとおり、案2の半地下については、半地下区間に降った降雨は排水ポンプでくみ上げて排水する等の対策が必要となります。
18	出津橋	案2	案2について道路冠水を強調しているが、側溝の配置など排水をして頂くことで軽減できると思うので、実現可能な案として検討をお願いしたい。	御質問のとおり、案2の半地下区間に降った降雨は、排水ポンプでくみ上げて排水する等の対策により軽減できますが、処理能力を超える降雨となった場合は、冠水する可能性があります。
19	出津橋	案2	案2は、道路の整備に伴う雨水対策について検討が必要と感じた。	道路整備に伴い、道路周辺の地域に影響が出ないような排水方法を計画しています。また、出津橋の雨水対策については、越谷市で必要な検討を行うものと考えています。 案2の半地下については、半地下区間に降った雨水は排水ポンプでくみ上げて排水する等の対策が必要となります。
20	出津橋	案2	今の出津橋と同じ位置に架替えが良い。その際は、車いす、自転車、人間がゆったり通れる様に幅員を広げて欲しい。直線的に道路を横断できる案2が良い。	出津橋の幅員については、管理者である越谷市と協議していきます。 横断方法については、御意見を踏まえ、総合的に判断していきます。

(都) 浦和野田線 (元荒川工区) 第2回オープンハウス型説明会 御意見・御質問一覧

当日、会場で御質問いただいた内容や意見書で御提出いただいた内容に対する回答です。

御意見・御質問内容については、一部要約して記載していますので御了承ください。

No	分類	キーワード1	御意見・御質問内容等	回答
21	出津橋	案2	浦和野田線を半地下とし、冠水の可能性は非常時のみであり、地域住民の利便性を最優先として進めて欲しい。 案2の歩道橋の幅では、現状の交通量にマッチしていない。	横断方法については、御意見を踏まえ、総合的に判断していきます。
22	出津橋	案2	浦和野田線と出津橋利用者の動線において、高齢者、老人夫婦、独居の方々が多く買物、通院するのに現行の動線は必須。 歩行のしやすさから、浦和野田線は半地下化して現行の動線を維持して欲しい。	
23	出津橋	案2	案2が良いと思った。（階段部分は、車いすが乗れるようなエスカレーター方式を希望する。人感センサーで運転するタイプ。）	
24	出津橋	案2	案2は冠水の可能性を考えると現実的ではない。	
25	出津橋	案2	案2について、新設道路で冠水構造は良くないと思った。	
26	出津橋	案2	出津橋を渡り切ってそのまま歩道橋に接続になるが、バイパスを半地下にしなくてはならず、冠水の被害が予測され実現性には難点がある。	
27	出津橋	案3	案3について、信号機付き横断歩道が増えるとあるが、当たり前のこと。この地区へバイパスを敷設するなら、その為の代価はバイパスを通行する車両が当然いくらでも払うべき。何より優先させるのは、身体的弱者が安全に簡単に横断できる方法である。	案3は道路横断者が安全に横断できる構造とならないため、パネルに記載のとおり実施しません。
28	出津橋	案3	案3について、道路を北越谷地区側へずらして階段を緩くし、たまりスペースをつくる。 また、大間野南荻島線の交差点から1 5 0 m離れた位置に横断歩道を付ける。（西側の押しボタン信号は付けない）	昭和6 2 年の都市計画決定時は、道路と河川を一体的に整備する計画でしたが、道路構造や自然環境への影響などの課題がありました。そのため、6つのルート案を比較検討し、幹線道路との接続や事業の実現性などから、道路が河川敷にかからない現在のルートへ変更しましたので、御意見として承ります。 案3は信号機設置の指針を満たさないため、パネルに記載のとおり交通安全上実施しません。
29	出津橋	案3	案3は車両の交通を考えると信号が近すぎるので現実的ではない。	横断方法については、御意見を踏まえ、総合的に判断していきます。
30	出津橋	案3	出津橋を渡ったところに出来る階段は勾配が急であり、車椅子等の利用が困難であることから、実現性は低いと考える。	
31	出津橋	案4	デザイン性を取入れた出津橋とすることで、桜並木が失われても北越谷の新名所としての価値が作り出され大学のある街・蛇行する景観を有する街としての価値。 そこには越谷の誇れる自然環境や美しい景観の保全、さらには未来に引き継がれるバイパスの騒音や環境汚染を引き受けざるを得ない、地域住民の理解と納得が生まれると確信する。	横断方法については、御意見を踏まえ、総合的に判断していきます。 なお、周辺環境に配慮した道路計画としており、浦和野田線の整備によって桜並木は撤去しません。
32	出津橋	案4	一番多く利用する事になるであろう、文教大学学生及び関連の方の御意見は聞いたのか。 費用の問題はあると思うが、2橋架ける案4が住人としてはありがたいと思う。	地元自治会長、文教大学や地元小学校の関係者及び関係機関などで構成する意見交換会において、各検討素案に対する御意見をいただいています。 横断方法については、御意見を踏まえ、総合的に判断していきます。
33	出津橋	案4	HPの動画を事前に確認し、職員に質問出来たので、よく分かった。 周辺住民の方や歩行者に優しく景観も大きく損なわない案4が良いと思うが、課題も分かったため、よく考えてみようと思った。	引き続き、事業への御理解、御協力をお願いします。

(都) 浦和野田線 (元荒川工区) 第2回オープンハウス型説明会 御意見・御質問一覧

当日、会場で御質問いただいた内容や意見書で御提出いただいた内容に対する回答です。

御意見・御質問内容については、一部要約して記載していますので御了承ください。

No	分類	キーワード1	御意見・御質問内容等	回答
34	出津橋	案4	案4は大賛成。案5は反対。	横断方法については、御意見を踏まえ、総合的に判断していきます。
35	出津橋	案4	案4が良かったが、橋をかける費用・メンテナンスにかなりの税金がかかるようで困難なことが分かった。	
36	出津橋	案4	案4は、少ない上り下りで道路を横断できる。同時に出津橋の混雑状況を緩和する方法として妥当と思われる。 説明文に「関係機関との協議に課題あり」とは、越谷市の財政上2橋架ける費用は出せないとのことだが、案1のスロープを作る費用を橋の建設費に回すという方法があるのではないだろうか。県と市とで予算が違ような話で片づけて欲しくない。	
37	出津橋	案4	案4について、2橋設置は横断者が分散される為、それはそれで一歩前進と考えられる。車椅子利用者が、新設の端から横断できることを考えてほしい。2橋の近接架橋には、関係機関との協議が課題とあるが、これこそ行政機関の使命ではないか。	
38	出津橋	案4	案4を希望。文教大学は永年継続されると思うし、通学の時間には旧出津橋を通るなどのフレキシブルな生活対応ができる。かつ私含め文教大学の真裏に住んでいる者からすると自転車で駅に向かうのに迂回が必要で煩わしい。案5よりは案4を望む。	
39	出津橋	案4	案4に大賛成。人流は分散され、事故も減る。一方で、関係者への協議の課題の為、困難という記載が残念。費用の問題と聞いたが、実現可能な案として検討をお願いしたい。	
40	出津橋	案5	案5で北越谷地区に渡れる信号機と横断歩道をつける。 案4でも良いと思う。	案5については、説明パネルに記載のとおりです。 横断方法については、御意見を踏まえ、総合的に判断していきます。
41	出津橋	案5	案5がスマートで良い。 橋は拡張して欲しい。新橋の前後に護岸を設置すると思うがそれに合わせてちょっとした広場と親水護岸カヌー乗り場の整備を希望。大学生や住民の憩いの場として使われる。 元荒川下流は歩道がないので河川敷地を利用して遊歩道を設置して欲しい。元荒川で唯一遊歩道がない区間となっている。	親水空間の整備や出津橋の幅員については、越谷市など関係機関と協議していきます。
42	出津橋	案5	案5は、道路高をなるべく上げて堤防との高低差をなくすこと。宅地側に高低差が出ても止む得ない。	道路と堤防を同じ高さにすることで、階段や斜路による移動が不要になり、平坦で移動がしやすくなるという御意見と推測しますが、宅地から県道への出入りが必要となる場合も考えられるため、宅地側における市道や民地からの接道に配慮した道路の高さとすることが必要と考えています。
43	出津橋	案5	案4と案5について、案4の問題に対応した案5は良い。出津橋は狭いので、余裕を持たせた幅にして新しい橋を作った方が望ましい。 文教大学の入り口近くに橋ができた方が、現状よりも学生の安全性は増す。	出津橋の幅員については、管理者である越谷市と協議していきます。 横断方法については、御意見を踏まえ、総合的に判断していきます。
44	出津橋	案5	橋の幅員を拡幅すれば混雑は緩和されるが、一箇所に人流が集中することは往来する人のトラブルにつながる危険がある。橋の維持管理費の抑制の目的で渡ることだけ重視されていて、新しい名所にはならない。	横断方法については、御意見を踏まえ、総合的に判断していきます。
45	出津橋	案5	見比べると案5が良いと思う。 案1も良いと思うが、車いすや自転車利用者はスロープ横断するため、現状よりも距離が長くなり苦痛である。	
46	出津橋	案5	案5を希望する。	
47	出津橋	案5	案5がいいと思う。	
48	出津橋	案5	案5について、橋の拡幅は賛成だが、位置変更は意味がない。即ち、北越谷地区側に道路へ繋がらないのでは現在より後退するので、一層不便になる。	
49	出津橋	案5	出津橋の横断対策について案5が良いと思う。	

(都) 浦和野田線 (元荒川工区) 第2回オープンハウス型説明会 御意見・御質問一覧

当日、会場で御質問いただいた内容や意見書で御提出いただいた内容に対する回答です。

御意見・御質問内容については、一部要約して記載していますので御了承ください。

No	分類	キーワード1	御意見・御質問内容等	回答
50	出津橋	位置	今の出津橋の位置は、駅からの移動を考えると一番短くて済むので、位置は変えずに拡幅する案が良い。 これまでの資料には、人と自転車の動線に関わるものがなかったし、検討した話や説明を聞いたことがないので、動線の検討と分散方策をお願いしたい。	横断方法については、御意見を踏まえ、総合的に判断していきます。 なお、出津橋周辺の横断者の利用需要などに関する検討結果については、越谷県土整備事務所ホームページに掲載しています。
51	出津橋	学生	出津橋周辺については地元住民のみならず文教大学の学生が利用者の大半であることから、大学側にも御意見を聞いても良いと思う。 長期的に見て、更新、維持管理の負担が一番軽減される案が良い。最初は多少の御意見が出るかもしれないが、暫くしたら慣れる人が殆どだと思う。	地元自治会長、文教大学・地元小学校の関係者及び関係機関などで構成する意見交換会において、各検討素案に対する御意見をいただいています。 横断方法については、御意見を踏まえ、総合的に判断していきます。
52	出津橋	旧橋	出津橋を架替える時は現在の橋を残して工事するのか。などの詳しい説明が欲しい。	現在の橋は、新しい橋を架設後撤去すると聞いています。
53	出津橋	合意形成	分かりやすい資料、説明だった。 橋の位置、形状についての合意形成方法が不透明に感じた。	橋の位置、形状を含む横断方法については、御意見を踏まえ、総合的に判断していきます。 引き続き、オープンハウス型説明会などを通じて、合意形成を図っていきます。
54	出津橋	構造	安全及び移動時間短縮の為には、H型もしくはX型の陸橋も検討の一つと考える。 スロープ等は出来るだけ長く、自転車でも無理なく乗降できる構造、橋は広く自転車と人とそれぞれ別に乗り入れが出来る構造でお願いしたい。	出津橋の構造については、管理者である越谷市と今後協議していきます。
55	出津橋	信号現時	出津橋は日常的に混雑しているため、横断歩道を使用する道路横断案は横断待ちによって周辺道路の人の渋滞を招きかねない。 車両の渋滞を防ぎ、歩行者を優先する信号現時の調整はどの様に対応するのか。	利用状況に応じて、交通管理者（警察）と協議していきます。
56	出津橋	凍結	横断対策にはどの案もメリットデメリットがあることが分かった。今後も案の追加と説明会を行って欲しい。冬季は橋や段差は凍結しやすくなるので、対策を考えて欲しい。	横断方法については、御意見を踏まえ、総合的に判断していきます。 説明会については、引き続き実施していくことを想定しています。
57	出津橋	幅員	文教大学の学生、南荻島地区の通勤者数コロナ後の数をしっかりカウントしたのか。 特に朝は道路を横断しなくても出津橋は人で混雑しているので、通行者が安全に往来できるよう歩道をもっと広げる等考えて欲しい。	利用状況を踏まえ、出津橋の幅員については、管理者である越谷市と協議していきます。
58	出津橋	立体化	現在と同じく出津橋から平面的に歩行できるように、車道を高くして立体化する。	横断方法については、御意見を踏まえ、総合的に判断していきます。
59	出津橋	立体化	案1や案2のような立体横断施設による横断手法は信号機が少なくなってよい。	
60	出津橋	全般	案2、案3、案4は、各々実現が難しい課題があり、賛成できない。 案1の横断歩道橋の新設は、必要性やメリットが認められず、景観上も不要と思う。 案5により、現出津橋より幅員広げられれば、文教大学生通学ピーク時の混雑が緩和されるメリットがあると思う。	
61	生活環境	騒音	遮音壁の設置イメージを見て、周囲に威圧感なく自然に溶け込めるように考えられていて良いと思った。	引き続き、事業への御理解、御協力をお願いします。
62	生活環境	騒音	全区間低騒音舗装で必ず施工して欲しい。 低層遮音壁については、遮音効果並びに歩行者、自転車の車道への飛出し防止の観点から元荒川に沿った地区では全区間設置して欲しい。	元荒川工区では、原則低騒音舗装を実施する予定です。 遮音壁については、御意見を踏まえ、総合的に判断していきます。
63	生活環境	騒音	騒音対策は基準値をクリアな値なので、理解納得した。	引き続き、事業への御理解、御協力をお願いします。
64	生活環境	騒音	同じ北越谷地区で住居専用地域と近隣商業地域で対応が異なるのはおかしい。 近隣商業地域にも道路に面する住宅が多いので、同様に遮音壁による騒音対策が必要。	説明パネルのとおり、住居専用地域や近隣商業地域などの用途地域の違いによって、適用される環境基準値が異なります。このため、低騒音舗装のみの騒音対策では環境基準値を上回ってしまう箇所について、低層遮音壁による対策を検討しました。 遮音壁については、御意見を踏まえ、総合的に判断していきます。
65	生活環境	騒音	官民境界から30m地点ではなく、官民境界から30mまでの住居の方に遮音壁の有無のアンケート等を行って欲しい。 静かな北越谷地区の住宅街を浦和野田線が通るだけでも、騒音、排ガスが懸念される。数字でモノを言うのではなく、住民の御意見をきちんと反映していただきたい。	オープンハウス型説明会や御意見交換会を通じて、住民の皆様の御意見を伺いながら浦和野田線の整備を進めています。 引き続き、いただいた御意見を考慮し、対策方法の検討など進めていきます。

(都) 浦和野田線 (元荒川工区) 第2回オープンハウス型説明会 御意見・御質問一覧

当日、会場で御質問いただいた内容や意見書で御提出いただいた内容に対する回答です。

御意見・御質問内容については、一部要約して記載していますので御了承ください。

No	分類	キーワード1	御意見・御質問内容等	回答
66	生活環境	騒音	遮音壁はあるといいと思うが、出入りができなくなるのも困る。 車がたくさん道を通うとなると排ガスが心配。	住居から車両が出入りする箇所には、遮音壁は設置しません。 排ガス対策として、街路樹の配置計画、樹種等を検討していきます。
67	生活環境	騒音	自宅が浦和野田線に近いため、交通量がどのくらいになるのか。夜の騒音が気になる。	浦和野田線の計画交通量は28,000台／日です。 低騒音舗装の敷設や低層遮音壁を設置することで、各用途地域ごとに定められた騒音に関する環境基準値を下回る予測結果となりました。
68	生活環境	騒音	遮音壁で騒音を抑えられるのか不安。	低騒音舗装の敷設や低層遮音壁を設置することで、各用途地域ごとに定められた騒音に関する環境基準値を下回る予測結果となりました。
69	生活環境	騒音	遮音壁の高さが低く、効果がないように思った。	
70	生活環境	騒音	夜間の騒音がとても気になる。	
71	生活環境	騒音	高さ1mの遮音壁を設置したところで、沿線の住宅は夜通し騒音に悩まされる。 たった1mの柵のような壁を言っているのではなく、高速道路に設置されているようなアーチ状の遮音壁としてもらいたい。	遮音壁については、御意見を踏まえ、総合的に判断していきます。 低騒音舗装の敷設や低層遮音壁を設置することで、各用途地域ごとに定められた騒音に関する環境基準値を下回る予測結果となりました。
72	生活環境	騒音	沿線に住む住民は振動、騒音、排ガスなどの生活面でのデメリットが大きい。 今回の素案についても、あたかも工事が決定されて、すでに後戻りできないようにビデオを作って（ビデオのほうがりやすいというのは理解できるが）、既成事実を積み重ねてる作業だと感じる。	浦和野田線が整備されると、北越谷駅周辺道路の交通量が減少し、北越谷地区内における事故の抑制が期待できます。また、大規模災害時の避難、救護、物資輸送等が確保され、地域の防災力向上が期待されます。 上映した動画は、低層遮音壁の設置イメージを分かりやすく伝えるためのものであり、既成事実の積み重ねではありません。 遮音壁については、御意見を踏まえ、総合的に判断していきます。
73	生活環境	騒音	低層遮音壁設置区間がN o.4 前後の2 0 0 mで検討されていることについては、検討素案であり決定していないと伺った。 騒音対策として効果があると思われるので、N o.3 前後にも設置を検討して欲しい。	遮音壁については、御意見を踏まえ、総合的に判断していきます。
74	生活環境	騒音	騒音について、環境基準を下回る数値が出ているから防音壁も1 m程度の設置とする素案をビデオにしているが、環境基準値を下回るだけでは足りない。	
75	生活環境	騒音	本線を半地下化することで、騒音も多少減少するのではないか。	
76	生活環境	騒音	遮音壁はしっかりやって欲しい。	
77	生活環境	騒音	対策を行えば環境基準値以下となることが分かった。 将来的に幼児を持つ家庭の立場を考えると河川沿いや駅、スーパーまでのルート内の騒音は最小限であるべきと考える。	
78	生活環境	騒音	騒音について、環境基準値以下だから問題ないのではなく、元々なかった場所に道路を通そうとしている為、限りなく現在の騒音レベルに状態に近づけて頂きたい。	今後の検討課題といたします。
79	生活環境	騒音	現在の静けさを維持してほしい。美しい景観と静けさと便利さを、あくまで現在のまを堅持する工法であってほしい。「基準値」なるものも、よくわからない。	
80	生活環境	騒音	音や振動の感じ方は人それぞれなので、言葉だけではなく納得感のある説明（実際に6 0～7 5 d Bの状況（音声）を体感してもらう等）があれば理解しやすいと思う。	
81	生活環境	排ガス	排気ガスに対しては現在がどの程度で、今後どうなるのか。数値が欲しい。 また、それに対しても環境基準を満たしているではなく、軽減策を求める。	令和3年10月に実施した説明会において、道路整備後においても二酸化窒素や浮遊粒子状物質が環境基準値を下回る予測結果として説明しています。なお、排ガス対策として、街路樹の配置計画、樹種等を検討していきます。
82	自然環境	桜並木	浦和野田線が出来ることによって、道路を作ることで桜並木がなくなり、大切な大自然が無くなってしまふ。 そもそも日本の人口が減少しているのに、このような道路の整備は必要なのか。	周辺環境に配慮した道路計画としており、浦和野田線の整備によって桜並木は撤去しません。 浦和野田線の全体延長8.3kmのうち、未着手区間は元荒川工区の1.3kmのみとなります。県南東部地域の東西ネットワーク強化を図るため、整備する必要があります。
83	自然環境	自然	自然豊かな元荒川の土手を工事により変わることの寂しさは計り知れないが、仕方がない。イメージ画像スライドは、とても良いと思った。	引き続き、周辺環境に配慮した道路計画を進めていきます。

(都) 浦和野田線 (元荒川工区) 第2回オープンハウス型説明会 御意見・御質問一覧

当日、会場で御質問いただいた内容や意見書で御提出いただいた内容に対する回答です。

御意見・御質問内容については、一部要約して記載していますので御了承ください。

No	分類	キーワード1	御意見・御質問内容等	回答
84	自然環境	植樹	低木の植栽を第1回オープンハウス型説明会で要望したが、パネルに反映されていなかった。 N o.3→N o.4 にかけて一旦植栽が途切れている区間について、道路を元荒川側に寄せて住居側の植栽の確保を検討して欲しい。	第2回オープンハウス型説明会では、再検討した「出津橋周辺の横断方法」「生活環境（騒音等）対策のうち騒音対策」について御意見をいただき、今後対策案の選定を行う際の参考とすることを目的としていますので、植栽については今後検討していきます。
85	交通安全対策	冠水	治水対策について、大雨時の冠水対策、道路の排水など気になる。	浦和野田線に降った雨は、道路内の街渠縦断管で集水し、既設雨水函渠などへの排水を検討しています。 また、既設雨水函渠への排水検討に当たっては、排水先である既設雨水函渠の流下能力を超えないか確認します。 なお、道路排水能力を上回る降雨となった場合は、一般的に通行止めなどの措置を実施しています。
86	交通安全対策	交通安全	浦和野田線から北越谷1丁目～4丁目地区内には、どこから車両が流入するのか。 浦和野田線に接道するすべての道路から車輛の出入りが可能になると、北越谷地区内を通過する交通量が増え、地区内の交通環境が悪化しないか心配。	同様の御意見は、第1回オープンハウス型説明会においてもいただいています。引き続き、生活道路の安全対策については、皆様の御意見を伺った上で検討していきます。
87	交通安全対策	交通安全	歩道と所有地の境界は県が柵をつくるのか？生活道路への通りぬけは×。	官地と民地の境界には、側溝や地先境界ブロック等の設置を検討しています。 生活道路に関する御意見は、第1回オープンハウス型説明会においてもいただいています。引き続き、皆様の御意見を伺った上で検討していきます。
88	交通安全対策	交通安全	神明町2丁目荻島小学校に通う子ども達がいるので、浦和野田線を横断する為の手段として何か考えて欲しい。	第2回オープンハウス型説明会では、再検討した「出津橋周辺の横断方法」「生活環境（騒音等）対策のうち騒音対策」について御意見をいただき、今後対策案の選定を行う際の参考とすることを目的としていますので、交通安全対策などについては今後検討していきます。
89	交通安全対策	交通安全	歩道と自転車道は分離されるべき	植栽や遮音壁の設置、歩行者と自転車の分離などの歩道空間の活用については、御意見を踏まえ総合的に判断していきます。
90	交通安全対策	交通安全	浦和野田線から北越谷地内へ乗り入れが出来ないように、接道する市道をすべて封鎖。	同様の御意見は、第1回オープンハウス型説明会においてもいただいています。引き続き、生活道路の安全対策については、皆様の御意見を伺った上で検討していきます。
91	交通安全対策	交通安全	市道から浦和野田線に車が合流する際、逆走の可能性がある為対応策を要望する。（大間野南荻島線の交差点を除く）	本線に進行方向を示す看板を設置するなどの安全対策を検討します。
92	交通安全対策	交通安全	カーブの所へ安全対策の明示をしていただきたい。	引き続き、生活道路の安全対策については、皆様の御意見を伺った上で検討していきます。
93	説明会	動画	動画について、視覚的な効果で分かりやすいと思ったが、案1だけに特化していることに意図を感じる。公平性に欠ける。	動画内で記載したとおり、低層遮音壁の設置イメージを確認していただくことが目的として、令和5年度のオープンハウス型説明会で上映した歩道橋案の3Dイメージ動画をベースに作成したものです。 このため、案1（歩道橋）に特化させるような意図はありません。
94	説明会	動画	動画は、南荻島から北越谷に渡る歩行者目線も欲しかった。（案1と案5）	今後は分かりやすい資料の作成に努めます。
95	説明会	周知	大勢参加した小学校での説明以来、進捗を知らなかったという声を聴いた。地区センターの一角に常時展示しておくなど身近に情報が見れる工夫を求める。	今後の検討課題といたします。
96	説明会	説明資料	御意見書の記入例は、結論への誘導が意図として感じられ不適切。先入観を持たない公平な情報提供をするべき。	記入例に関する御意見を踏まえて、2日目（11月30日）から記載の一部を修正しました。
97	説明会	説明資料	記入例がナンセンス。	
98	説明会	説明資料	展示された平面図では目印となる施設や道路の標記が少なかったので、次回の説明会では分かりやすく工夫して欲しい。	今後は、分かりやすい資料の作成に努めます。
99	その他	大間野南荻島線	大間野南荻島線への車の流入台数（〇台/日、〇台/時）を知りたい。	令和元年度に浦和野田線から大間野南荻島線へ流入する将来交通量を推計したところ、ピーク時で279台／時でした。
100	その他	大間野南荻島線	大間野南荻島線は、元荒川を超えて延伸しないことが分かった。	引き続き、事業への御理解、御協力をお願いします。
101	その他	越谷流山線	浦和野田線と越谷流山線の交差点北側にある交差点の信号機及び横断歩道の撤去は絶対反対。	引き続き、交通管理者（警察）と協議していきます。
102	その他	事業全般	東武スカイツリーラインの高架部分の様子を詳しく知りたい。	東武スカイツリーラインの高架部分におけるどのような内容を確認したいか分からないため、お手数をおかけしますが、越谷県土整備事務所 道路施設担当までお問合せ下さい。
103	その他	事業全般	県の都合の良いように（あたかも住民の御意見を取り入れているように見せかけて）押し進められているように思えてならない。説明が欲しいわけではなく、住民の要望も取り入れた事業をして欲しい。	令和5年度から計2回オープンハウス型説明会を開催し、住民の皆様からは様々な御意見をいただいています。引き続き、説明会などを通じて御意見を伺いながら進めていきます。
104	その他	事業全般	取組み内容をよく理解できた。	引き続き、事業への御理解、御協力をお願いいたします。

(都) 浦和野田線 (元荒川工区) 第2回オープンハウス型説明会 御意見・御質問一覧

当日、会場で御質問いただいた内容や意見書で御提出いただいた内容に対する回答です。

御意見・御質問内容については、一部要約して記載していますので御了承ください。

No	分類	キーワード1	御意見・御質問内容等	回答
105	その他	事業全般	現在より一層の進歩を目指して道路整備を行い、その目的が多面的であることは良くわかる。しかし、第一の目的は、今そこに住んでいる住民がより快適に安全になることである。それが伝わってこない。	令和5年度から計2回オープンハウス型説明会を開催し、住民の皆様からは様々な御意見をいただいています。引き続き、説明会などを通じて御意見を伺いながら進めていきます。
106	その他	事業全般	これまで様々な説明会に参加しているが、一貫して感じるのが、工事ありきでどんどん話が進んでいる。自宅周りの家も空き家になり、隣の家には土地買収の話をしつつ、粛々と進められてる印象。道路建設で影響を受けるであろう住民には平等に話をすべき。	令和5年度から計2回オープンハウス型説明会を開催し、住民の皆様からは様々な御意見をいただいています。なお、事業用地の買収については、用地補償説明や契約締結を各権利者にそれぞれ個別に対応を行っていますので、御理解ください。 説明会以外で御意見がありましたら、越谷県土整備事務所ホームページ又は電話にてお問合せください。
107	その他	事業全般	元荒川の自然をこれからも守っていきたい。 東京の神宮外苑といい、あれほど世界中で反対受けても、職務一筋のあなた方には、なんの自然保護の声は出ない。	引き続き、説明会などを通じて御意見を伺いながら進めていきます。
108	その他	事業全般	どんな計画でも完璧なものはないと思う。民主主義の世界ではどこかで妥協が必要。 ただ、作る以上地元民にとって少しでも良く、予算も考慮しつつ子孫に少しでも環境の良い道路を残してあげたいと思う。	